

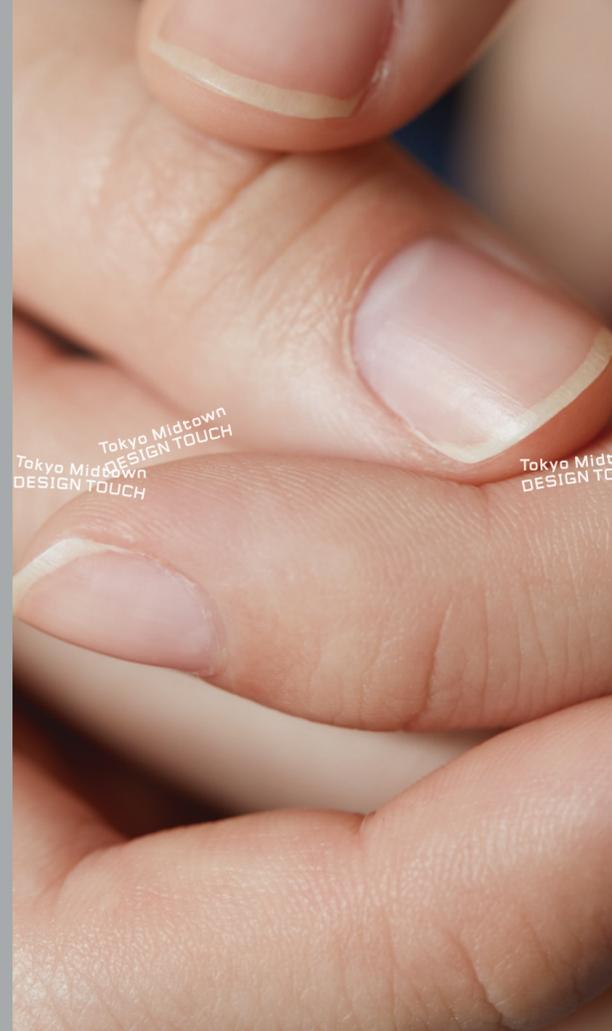


TOKYO MIDTOWN
三井不動産

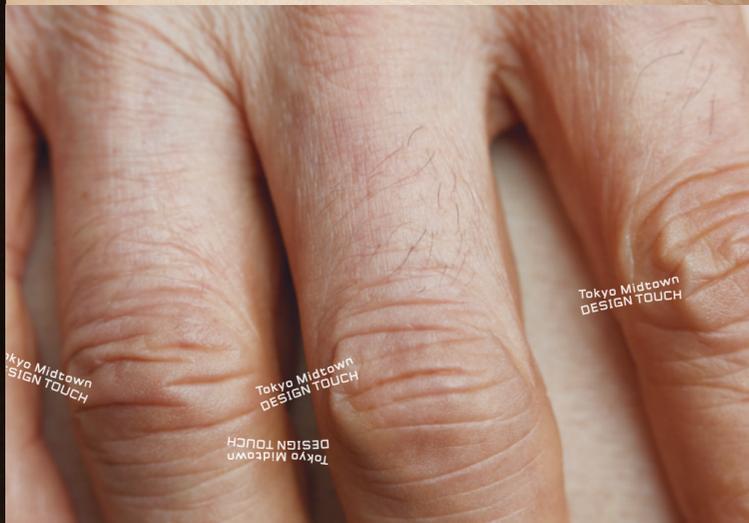
Tokyo Midtown DESIGN TOUCH

「ふれる」

2017.10.13 FRI - 11.5 SUN



EVENT GUIDE



デザインに「ふれる」24日間。

今年で11年目を迎える

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2017」のテーマは「ふれる」。

普段はただ「見る」ことが多いデザイン。

じつは、あなたの身のまわりにあふれています。

ちょっと気になる。そう思ったらふれてみてください。

きっと、新しい発見や豊かな暮らしのヒントに出会えるはずです。

たくさんの「ふれる」をご用意して、お待ちしております。

A twenty four day period during which you can "touch" designs.

"Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2017" marks

our eleventh year holding this event,

and this time the theme itself is "touch".

Design is generally something that's only looked at.

Nevertheless, you spend your life surrounded by design.

If something catches your eye, try just reaching out and touching it.

This is how new discoveries are made, and where further hints for

how to live your life can be found.

You'll find plenty of "touching" experiences

at Tokyo Midtown this fall!

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH

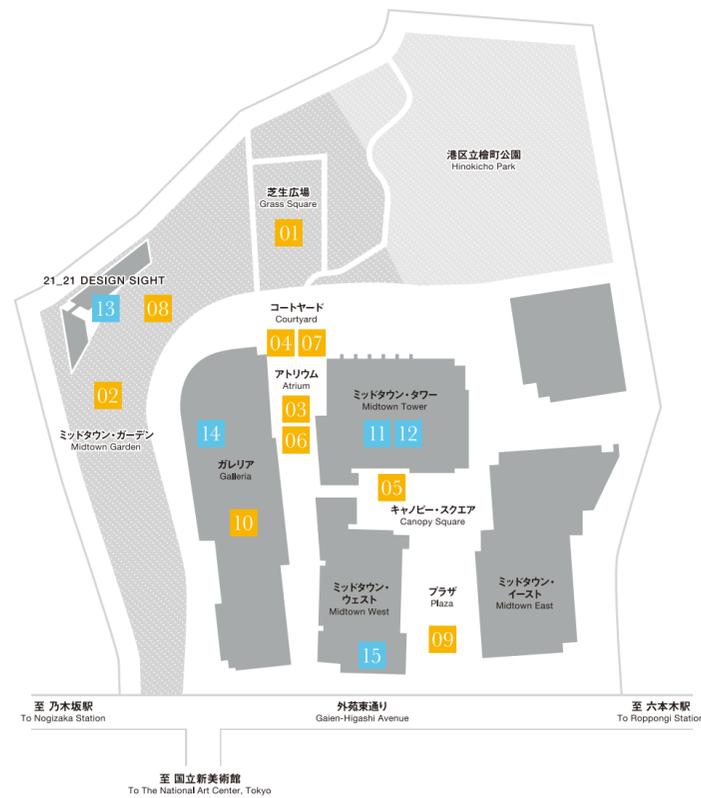
東京ミッドタウン デザインタッチとは？

“デザインを五感で楽しむ”をコンセプトに2007年から開催しているデザインイベントです。国内外で活躍するデザイナーや、注目されるデザインが集結し、デザインの魅力や可能性を身近に体感できるデザインの祭典です。

EVENT MAP

イベントマップ

- 01** デジベジ
-Digital Vegetables- by PARTY
◎芝生広場 Grass Square
▶P4-5
- 02** ものこころ提灯
Monokokoro Paper Lanterns
◎ミッドタウン・ガーデン Midtown Garden
▶P6
- 03** 未来の学校
powered by アルスエレクトロニカ
◎アトリウム Atrium
▶P7
- 04** Salone in Roppongi
vol.5 2017
サローネ イン ロッポンギ vol.5 2017
◎コートヤード Courtyard
▶P7
- 05** マツダデザイン展示
MAZDA DESIGN Exhibition
◎キャノピー・スクエア Canopy Square
▶P8
- 06** docomo design exhibition
つくることは、こわすこと。
Wild: Untamed Mind
◎アトリウム Atrium
▶P8
- 07** Panasonic Design
Exhibition
パナソニック デザイン エキシビション
◎コートヤード Courtyard
▶P9
- 08** 東京ミッドタウン・
アンティークマルシェ
Tokyo Midtown Antique Marché
◎ミッドタウン・ガーデン Midtown Garden
▶P9
- 09** Tokyo Midtown Award 2017
受賞作品発表・展示
◎プラザB1 Plaza B1
▶P10
- 10** ふれてみたいデザイン展
The "Want to Touch" Design Exhibition
◎ガレリアB1/3F Galleria B1/3F
▶P11
- 11** GOOD DESIGN
EXHIBITION 2017
2017年度グッドデザイン賞受賞展
◎東京ミッドタウン内各所
All around Tokyo Midtown
▶P12
- 12** 東京ミッドタウン・デザインハブ第69回企画展
「私の選んだ一品」
-2017年度グッドデザイン賞審査委員セレクション-
"My Favorite Design"
-The selection from GOOD DESIGN AWARD 2017
◎東京ミッドタウン・デザインハブ
Tokyo Midtown Design Hub
▶P12
- 13** 野生展:
飼いならされない感覚と思考
Wild: Untamed Mind
◎21_21 DESIGN SIGHT
▶P13
- 14** 六本木開館10周年記念展
天下を治めた絵師 狩野元信
Kano Motonobu:
All Under Heaven Bowed to His Brush
◎サントリー美術館
SUNTORY MUSEUM of ART
▶P13
- 15** ~世界中に影響を与えた写真家集団~
マグナム創設の原点
- Photographers who Influenced the World -
The Founding of Magnum
◎FUJIFILM SQUARE
▶P13



EVENT SCHEDULE

イベントスケジュール

CONTENTS/PLACE	10/13 10/14 10/15 10/16 10/17 10/18 10/19 10/20 10/21 10/22 10/23 10/24 10/25 10/26 10/27 10/28 10/29 10/30 10/31 11/1 11/2 11/3 11/4 11/5																														
	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
01 デジベジ -Digital Vegetables- by PARTY ◎芝生広場																															
02 ものこころ提灯 Monokokoro Paper Lanterns ◎ミッドタウン・ガーデン																															
03 未来の学校 powered by アルスエレクトロニカ ◎アトリウム																															
04 Salone in Roppongi vol.5 2017 サローネ イン ロッポンギ vol.5 2017 ◎コートヤード																															
05 マツダデザイン展示 MAZDA DESIGN Exhibition ◎キャノピー・スクエア																															
06 docomo design exhibition つくることは、こわすこと。 ◎アトリウム																															
07 Panasonic Design Exhibition パナソニック デザイン エキシビション ◎コートヤード																															
08 東京ミッドタウン・ アンティークマルシェ Tokyo Midtown Antique Marché ◎ミッドタウン・ガーデン																															
09 Tokyo Midtown Award 2017 受賞作品発表・展示 ◎プラザB1																															
10 ふれてみたいデザイン展 The "Want to Touch" Design Exhibition ◎ガレリアB1/3F																															
11 [同時開催] 東京ミッドタウン内各所 GOOD DESIGN EXHIBITION 2017 2017年度グッドデザイン賞受賞展 ◎東京ミッドタウン内各所																															
12 [同時開催] 東京ミッドタウン・デザインハブ第69回企画展 「私の選んだ一品」-2017年度グッドデザイン賞審査委員セレクション- "My Favorite Design" -The selection from GOOD DESIGN AWARD 2017 ◎東京ミッドタウン・デザインハブ																															
13 [同時開催] 21_21 DESIGN SIGHT 野生展: 飼いならされない感覚と思考 Wild: Untamed Mind ◎21_21 DESIGN SIGHT																															
14 [同時開催] サントリー美術館 六本木開館10周年記念展 天下を治めた絵師 狩野元信 Kano Motonobu: All Under Heaven Bowed to His Brush ◎サントリー美術館																															
15 [同時開催] FUJIFILM SQUARE ~世界中に影響を与えた写真家集団~ マグナム創設の原点 - Photographers who Influenced the World - The Founding of Magnum ◎FUJIFILM SQUARE																															

01

“ふれる”を体験

デジベジ

- Digital Vegetables - by PARTY

10/17 TUE - 11/5 SUN ※雨天中断・荒天中止

11:00 - 21:00 (17:00 - 21:00はライトアップを実施) 芝生広場

ふれると反応する
インタラクティブ体験を

芝生広場に、巨大なビニールハウスが出現。内部には見慣れた“やさい”たちが土に植えられ、天井には空と水をイメージしたLEDが張り巡らされています。来場者がやさいに直接ふれることでビニールハウス内のLEDが反応し、そのやさいの花や種、葉の色が広がり空間が変化。いつもは食べる対象でしかないやさいの、植物としての多彩な側面、豊かな色彩をインタラクティブに体験できる試みです。

[入場] 自由 [料金] 無料 [制作] PARTY
[主催] 東京ミッドタウン

都市での生活では、なかなか感じる機会が少ない土の匂いを感じながら、“やさい”にふれ、インスタレーションを体験することによって、自然と“やさい”の成り立ちを学ぶことができる空間を演出しました。

CREATOR'S MESSAGE

つくったのはこの人たち

PARTY

クリエイティブカンパニー
PARTY

「ビッグデータ」「VR」「IoT」などの最新テクノロジーとストーリーテリングを融合し、未来の体験をデザインするクリエイティブ集団。成田空港第3ターミナルの空間デザインや、個人の価値に値段をつけてトレーディングカードのように流通させるフィンテックサービス「VALU」の設計・運営、世界中で話題を集めたピコ太郎が歌う「PPAP」のライブ演出などを手がける。

都会のまん中に巨大なビニールハウスが出現します



幅6m×長さ30mのビニールハウスに“やさい”が並びます。夜はライトアップされ幻想的に。

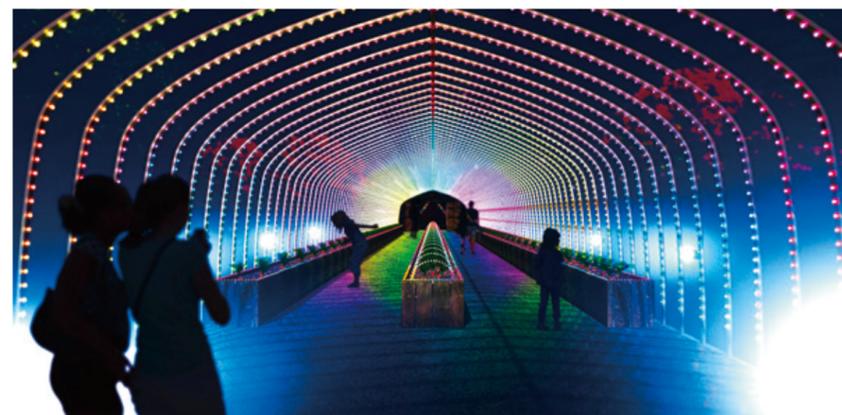


“やさい”に直接ふれてください

あなたのタッチで小さな光たちが反応します



自分がふれたことで、無数のLEDの光が風や水のように有機的に動く、不思議なインタラクティブ(双方向)体験をぜひ。



昼間はもちろん、光の演出がいつそう際立つ夜もおおすすめです。

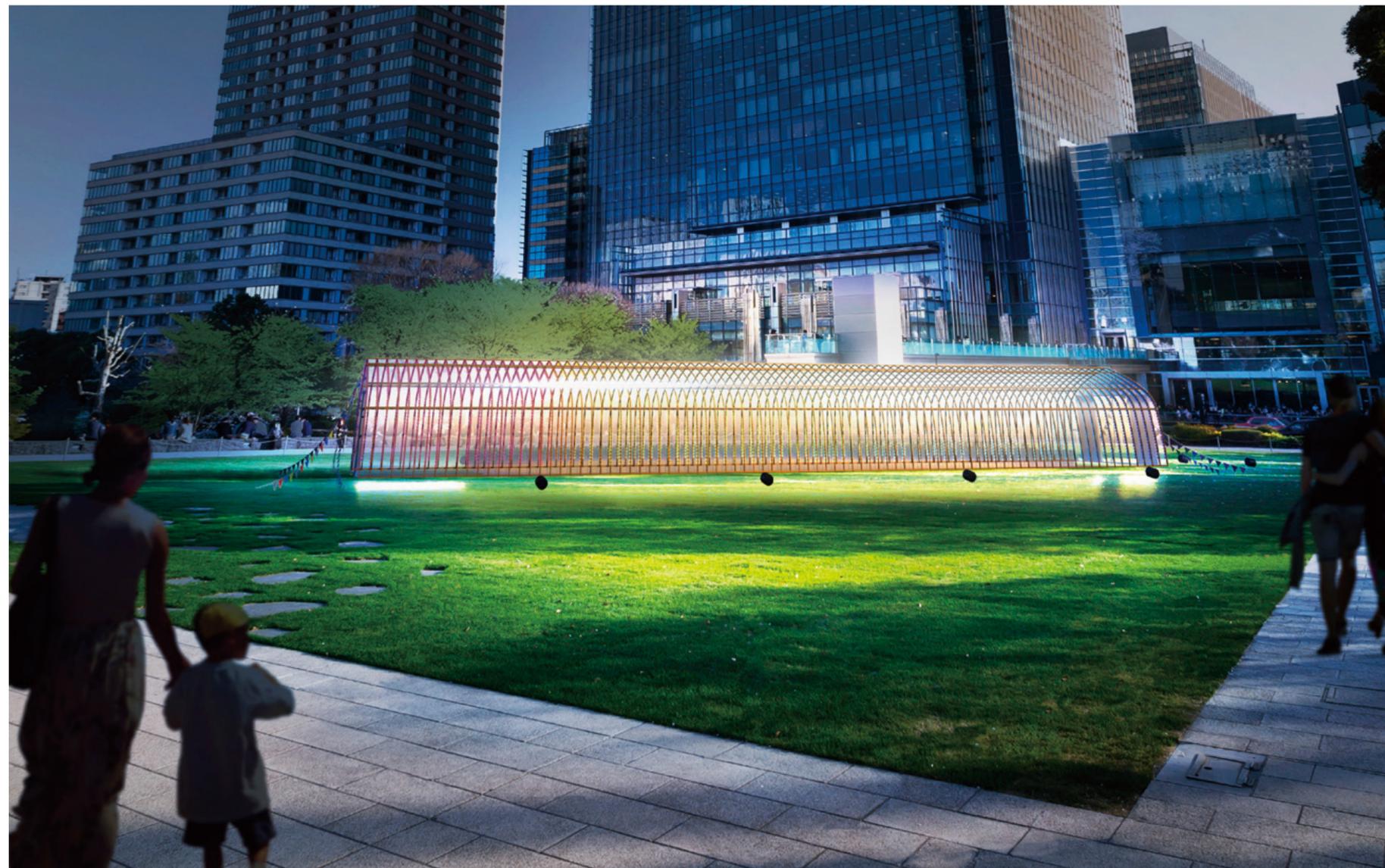




photo: Florian Voggeneder

03

デザインされた情報に“ふれる”

未来の学校

powered by アルスエレクトロニカ

SCHOOL OF THE FUTURE powered by ARS ELECTRONICA

10/13 FRI - 10/16 MON

🕒 11:00 - 21:00

📍 アトリウム

アルスエレクトロニカと考える未来の情報デザイン

東京ミッドタウンが、世界的なクリエイティブ機関、アルスエレクトロニカと展開するプロジェクト「未来の学校」第2弾。情報がいかにデザインされているのか、WEBやSNSからフェイクニュースまで、現在を見据え、未来の情報デザインの在り方を考える場です。世界で活躍する第一線のクリエイターによるスペシャルトークイベントも実施します。

[料金] 無料 [主催] 東京ミッドタウン [協力] アルスエレクトロニカ

ARS ELECTRONICA
アルスエレクトロニカ

オーストリアのリンツ市を拠点に30年以上に渡り、「先端テクノロジーがもたらす新しい創造性と社会の未来像」を提案し続けている世界的なクリエイティブ機関。アート、テクノロジー、社会をつなぐ出会いの場を創造し、横断的「未来」を提案。毎年開催されるメディアアートに関する世界的なイベント「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」は、芸術・先端技術・文化の祭典として知られている。



02

伝統とデザインに“ふれる”

ものこころ提灯

Monokokoro Paper Lanterns

10/13 FRI - 11/5 SUN ※荒天中止

🕒 11:00 - 21:00 (17:00 - 21:00はライトアップを実施)

📍 ミッドタウン・ガーデン

提灯を通じて伝統とデザインに新たな火をともし

ミッドタウン・ガーデンの小川に沿うように提灯が並びます。現代では装飾や看板として使われることが多い提灯ですが、「ものこころ提灯」は、人が近づくと歓迎するかのように揺れ動き、その喜びを表現するかのように灯りが変化します。日本の伝統的な題材とデザインが融合し、「もの」に「こころ」が宿った新しい提灯の姿を表現しています。自然の中を歩きながら、インタラクティブな体験をお楽しみください。

[入場] 自由
[料金] 無料
[制作] WOW/HAKUTEN
[主催] 東京ミッドタウン

古くは日用品として広く使われていた提灯ですが、昨今お祭りや居酒屋の看板など、用途が限定されてきています。今一度、この提灯に目を向けてもらい、少しでも気に留めてもらうにはどうしたらいいのだろう？ なにか要素を付加することで、その力になれるか？ そこで、本インスタレーションでは提灯に「こころ」を感じるような動きを与えられないかと考えました。揺れ動く不思議な提灯たちを、ぜひ見に来ていただければと思います。

CREATOR'S MESSAGE

つくったのはこの人たち

ビジュアルデザインスタジオ
WOW

東京と仙台、ロンドンに拠点を置くビジュアルデザインスタジオ。既存のメディアやカテゴリーにとらわれない幅広いデザインワークを展開。近年は積極的にオリジナルのアート作品を制作し、国内外でインスタレーション展示を多数実施している。

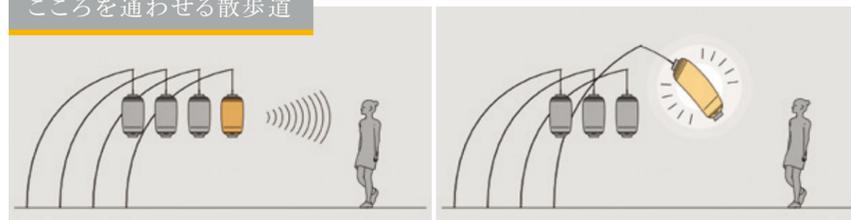


HAKUTEN

博覧はリアル体験による「感動」と「共感」を企業の成長につなげるエクスペリエンスマーケティングカンパニー。エクスペリエンスマーケティングのスペシャリスト集団として、イベントや展示会などの人と人が直接出会う「場」・「空間」において、さまざまな体験価値を創造し、企業と生活者がふれ合う機会をプロデュースしている。

人感センサーを身につけた提灯と

こころを通わせる散歩道



提灯に取り付けられている人感センサーで、道行く人の動きで提灯が変化します。まるで「こころ」があるかのような提灯とのやりとりを楽しみながら、秋のそぞろ歩きを。

04

デザイナーの情熱に“ふれる”

Salone in Roppongi vol.5 2017

サローネ イン ロッポンギ vol.5 2017

10/13 FRI - 10/22 SUN 🕒 11:00 - 21:00 📍 コートヤード ※雨天・荒天中止

世界のトップクリエイターと交わる場

今回は、ミラノサローネのように世界を舞台にするデザイナー、建築家、アーティストが集まるスペース「デザイナーズ・ジャンクション」が登場します。数々のクリエイターがデザインを語り、表現し、交わる「場」で、オンタイムで「場」をデザインしていくワークショップや、参加クリエイターによるトークセッションなどを開催します。

[料金] 無料
[主催] Salone in Roppongi 実行委員会
[協力] 東京ミッドタウン



ミラノ・サローネとは？

毎年4月にミラノで開催される世界屈指の国際家具見本市。世界160カ国からデザイン関係者、クリエイターが集まり、新作発表やさまざまなインスタレーションなどの展示を行います。町中がデザインを楽しむ一週間です。

Salone in Roppongiとは？

世界屈指のデザインの祭典「ミラノ・サローネ」の息づかいを伝えるべく2013年にスタート。ミラノはもとより世界を舞台にするデザイナー、建築家、アーティストのその活躍を六本木から発信する試みです。

参加クリエイター

グラフィックデザイナー/アートディレクター
柿木原 政広
Masahiro KAKINOKIHARA

ドラフトを経て、2007年に株式会社10(テン)を設立。singineAEON, R.O.Uのブランディング、東京国際映画祭、静岡市美術館のCI、フランス国立ギメ美術館での鳥山人展のADなどを手がける。NewYork ADC賞など受賞多数。

グラフィックデザイナー
植原 亮輔
Ryosuke UEHARA

ドラフトを経て、2012年に渡邊良重とともにキギを設立。D-BROS, KIKOFなどで商品デザインを手がけるほか、あらゆるジャンルを横断しながらグラフィックの新しい在り方を探索。亀倉雄策賞やNewYork ADC賞など受賞多数。

建築家
鬼木 孝一郎
Koichiro ONIKI

nendoのチーフディレクターとして手がけた空間デザインが、JCD賞金賞、JID賞大賞など国内外で数多く受賞。2015年に鬼木デザインスタジオを設立し、建築、インテリア、展示会の空間デザインを中心に多方面で活動中。

※写真はすべてイメージです。

05 マツダデザイン展示

クラフトマンシップに“ふれる”

MAZDA DESIGN Exhibition

10/13 FRI - 10/22 SUN 11:00 - 19:00 キャンピアー・スクエア

This is Mazda Design.

マツダ新型CX-8はデザイナーの感性と職人の技から生まれた色と造形、手仕事からしか生み出すことのできない上質なインテリアを備え、全ての乗員が「走る歓び」と「上質な豊かさやゆとり」を感じていただける空間づくりを行いました。SUVの力強いスタイルをまとい、スポーティな走りの良さを感じながら、大人らしい落ち着きや凛とした佇まいも感じていただけるフォルム、マツダのフラグシップSUVとしてふさわしい質感の高いインテリア。This is Mazda Design。「クルマを単なる鉄の塊でなく、まるで生き物のように生命感を感じさせる存在にしたい。」クラフトマンシップから生み出されたマツダデザインの真髄を五感で感じてみてください。

[料金] 無料 [主催] マツダ株式会社



マツダ新型CX-8 東京初展示(乗り込み体験可)

07 Panasonic Design Exhibition

暮らしの未来に“ふれる”

パナソニック デザイン エキシビション

11/1 WED - 11/5 SUN 11:00 - 21:00 コートヤード

家電メーカーだからできる
これからの豊かなデザイン

時代を越えて暮らしに寄り添い続ける、パナソニック。培ってきた家電メーカーとしてのDNAを核に、「次の豊かさとは何か」を問い、表現します。“Hands-on Innovation.”のコンセプトのもと、「GO ON!」*とのコラボレーションや未発表のプロトタイプをご覧ください。

(*京都伝統工芸の後継者によるクリエイティブユニット)

[料金] 無料 [主催] パナソニック株式会社

Panasonic Design
Hands-on Innovation.

06 docomo design exhibition

モノづくりのこだわりを“ふれる”

つくることは、こわすこと。

10/20 FRI - 10/29 SUN 11:00 - 21:00 アトリウム

ドコモのモノづくりへの姿勢を
伝えるインスタレーション

モノづくりにおいて、壁にぶつかることがある。そんなとき、積み上げてきたものを「こわす」ことを恐れてはいけない。

それは、原点に立ち戻る工程であり、理想へとたどり着くただひとつの道だから。

ドコモ誕生から25年。私たちが培ってきたモノづくりへの姿勢を、スマートフォン型の積み木を使ったインスタレーションによって表現します。

[料金] 無料 [主催] 株式会社NTTドコモ

08 東京ミッドタウン・アンティークマルシェ

古きに“ふれて”新しきを知る

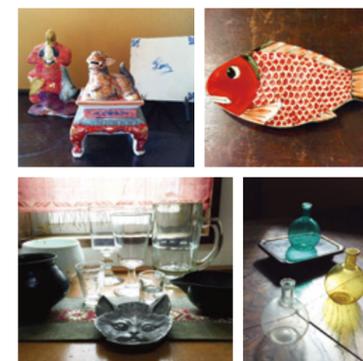
Tokyo Midtown Antique Marché

10/28 SAT, 10/29 SUN ※雨天・荒天中止
11:00 - 17:00 ミッドタウン・ガーデン

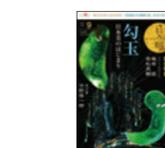
日本屈指の審美眼で集められた骨董・古美術品たち

骨董・古美術を扱い創刊40周年を迎えた月刊誌『目の眼』が、骨董市を開催します。一流のアンティーク・ディーラーが集い、洗練された眼とセンスで厳選された品々は、見ているだけで新しいひらめきが生まれる可能性を秘めています。「古きを訪ね新しきを知る」。そんな脈々と流れる“温故知新”にふれられる機会です。

[料金] 無料 [主催] 株式会社目の眼 [協力] 東京ミッドタウン



企画したのはこの編集部



月刊『目の眼』

今年創刊40周年を迎えた、骨董・古美術情報満載の月刊誌。初心者から愛好家までのクラスの読者にも楽しんでもらえるよう骨董・古美術の魅力やコレクションの楽しみ、コレクターの横顔、いま注目の展覧会情報など、さまざまな新入り口で紹介。毎月1日発売。

※写真はすべてイメージです。

09 Tokyo Midtown Award 2017

若い才能に“ふれる”

受賞作品発表・展示

www.tokyo-midtown.com/jp/award/



次世代を担うクリエイターを発掘・応援するTokyo Midtown Awardも今年で10回目。計1,489点の応募作品の中から選ばれた14作品を発表・展示します。

[料金] 無料
[主催] 東京ミッドタウン

受賞作品発表・授賞式 Award Ceremony

10/13 FRI 16:30 - 17:30

※完全招待制のため、一般のお客様のご入場はできません。

デザインとアート、両コンペの受賞作品を発表します。

【アートコンペ審査員】
川上 典孝子 / 児島 やよい / 清水 敏男 / 鈴木 康広 / 土屋 公雄 / 中山 ダイスケ
【デザインコンペ審査員】
小山 薫堂 / 佐藤 卓 / 柴田 文江 / 原 研哉 / 水野 学

授賞式の様子はUSTREAMで配信します。
※詳細は公式サイトをご確認ください。



※昨年の様子

受賞作品展示 Exhibition

10/13 FRI - 11/5 SUN

プラザB1

受賞作品全14点を展示します。



展示会場では一般投票で人気作品を選出する「オーディエンス賞」も実施します。



これまでのデザインコンペ受賞作品の数々は

日本を代表する人気商品になりました

あわせてチェックしたい

10周年 特別展示

10回目の実施を記念して、これまでの9回のデザインコンペ受賞作品全77作品を一堂に見渡せる展示を開催します。お気に入りの作品を見つけてみてください。



おめでたい紙コップ
637円
2016年 準グランプリ
デザイナー：井下 悠



おみく枝
1,944円
2014年 水野学賞
デザイナー：土屋 寛恭



歌舞伎フェイスパック
900円
2008年 学生の部準グランプリ
デザイナー：小島 桐



富士山グラス
4,078円
2008年 水野学賞
デザイナー：鈴木 啓太



okokoro tape
1個 540円、3個セット1,058円
2008年 小山薫堂賞
デザイナー：富田 知恵



エアボンサイ
3,024円
2008年 一般の部準グランプリ
デザイナー：ワビサビ

※すべての商品は、ガレリアB1中川政七商店街で販売中

10 ふれてみたいデザイン展

多彩なショップのモノに“ふれる”

The “Want to Touch” Design Exhibition

10/13 FRI - 11/5 SUN 11:00 - 21:00 ガレリアB1/3F

インテリア&デザインショップでは、今年のテーマ“ふれる”にちなみ、“ふれてみたいと思うデザイン”をキーワードに多彩なアイテムをご紹介します。

[料金] 無料
[主催] 東京ミッドタウン



鉄琴 キシローナ
18,144円
「手に障害のある子供にも演奏の楽しさを」と開発されました。カラフルなスティックをつまんで落とすと音が鳴る鉄琴です。
アトリエ ニキティキ
ガレリア 3F / 03-6721-1107



eN product
フラワーベース(L)
左：3,780円、右：3,564円
有機的なフォルムは上下を逆さにすることによりイメージが変化。木目と流れるようなラインの美しさを楽しめます。
TLB home
ガレリア 3F / 03-5647-8358



MINI PUUF
12,960円
愛嬌のあるフォルムのピースクッションはインテリアのアクセントに最適。特等席のある贅沢を、どうぞご自宅で。
IDÉE SHOP / IDÉE CAFÉ PARC
ガレリア 3F / 03-5413-3455(ショップ)

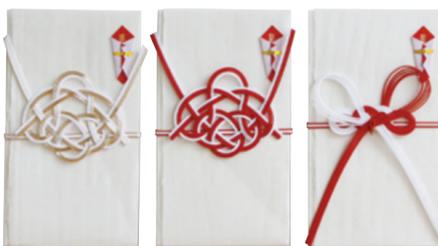


そろばん屋が作った
マッサージローラー
2,160円
創業100年超の播州そろばんの老舗が作るマッサージローラー。実際のそろばん玉が程よい刺激をほぐします。
中川政七商店街
ガレリア B1 / 03-6804-1310



箱型爪切 木屋
3,780円
切れ味が良く、薄く折りたためる爪切は、かさ張らないため携帯にも便利。生産中止を経て復刻した逸品です。
日本橋 木屋
ガレリア 3F / 03-5414-2088

小川和紙 オリジナルご祝儀袋
各1,620円
表面に浮かび上がる松の木板の目、水きり加工で和紙の風合いが活きたふわふわの耳。温かみのある手ざわりが魅力です。
WISE・WISE tools
ガレリア 3F / 03-5647-8355



ibuki hand craft
(枝のスプーン)
各2,160～7,020円(サイズによる)
枝の造形を活かし、1本1本手作業ですべすべに磨いたスプーンたち。思わず手にしたくなる風合いが見事です。
HIDA
ガレリア 3F / 03-5413-7637



超甘襪り ハンドタオル
1,512円
超甘襪り バスタオル
ショート：5,400円、ロング：7,344円
たっぷりとした贅沢なパイルの長さを保ち高い吸水性を実現。しっとりとした柔らかな肌触りを叶えた極上のタオルです。
テネリータ
ガレリア 3F / 03-6447-0181

snow&sea&deepforest
タンブラー
ブルーグレー/グリーン
各9,180円
ガラスをグラインダーで削った彫刻のようなタンブラー。凛とした素材感と存在感を楽しみながら、至福の一杯を。
TIME & STYLE MIDTOWN
ガレリア 3F / 03-5413-3501



※写真はすべてイメージです。 ※価格はすべて税込みです。

古今東西の展覧会で デザインやアートにふれる

11 同時開催 GOOD DESIGN EXHIBITION 2017

2017年度グッドデザイン賞受賞展

11/1 WED - 11/5 SUN 11:00 - 20:00 東京ミッドタウン内各所 ※最終日は18:00まで



社会を形づくるデザインは
次へのヒントに満ちています

「Gマーク」で知られる「グッドデザイン賞」。1,000件超の2017年の受賞作、最新デザインにいち早くふれられるイベントです。「ベスト100」受賞デザイナーによる公開プレゼンテーションのほか、ロングセラーデザインに贈られる「ロングライフデザイン賞」やアジアのユニークなデザインの展示など、見どころ満載です。

【料金】1,000円(5日間有効/大学生以下無料) ※一部無料
【主催】公益財団法人日本デザイン振興会

www.g-mark.org/gde2017/



グッドデザイン賞とは？

社会をより豊かに導く「よいデザイン」を広めようと、1957年に創設されたグッドデザイン賞は今年、記念すべき60周年を迎えました。モノに限らず、ビジネスモデルまでも賞する柔軟なデザイン哲学は、日本のデザイン界のひとつの象徴です。

G1 BEST100 & STAGE

ミッドタウン ホール

30mを超える大壁面で二次審査会場を再現。2017年度、特に評価の高かった「ベスト100」受賞デザインの展示・公開プレゼンテーションを実施します。この「ベスト100」の中から選ばれる大賞・金賞・特別賞は、初日に発表となります。また、長く愛されるデザインに贈られる「ロングライフデザイン賞」受賞展も併催します。

G2 BEST100 [Mobility]

キャンピング・スクエア

未来を示唆するデザインとして特に高い評価を得た「ベスト100」受賞の実車両を展示します。現品審査を行うグッドデザイン賞の審査の視点にふれてください。

G3 GOOD DESIGN

カンファレンス/デザインハブ

4,000件以上のデザインから選出された最新の「グッドデザイン」を紹介します。日用品や家電、産業機器、建築、アプリやサービス、ビジネスモデルや取り組みなど、私たちの暮らしをつくるデザインが集結します。

G5 GOOD DESIGN STORE

アトリウム

GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA のポップアップストアが初出店します。さまざまな「グッドデザイン」を実際に手に入れることができます。会場には、今年の受賞展ビジュアルをモチーフにした大型モニュメントも登場します。

ステージ&セミナー企画

ステージでは、100人のデザイナーによる100のデザインストーリー「ベスト100デザイナーズプレゼンテーション」を実施。社会的課題をテーマにしたフォーカス・イシュー・クロストークでは、デザインの可能性を審査委員と考えます。また、すべてのカテゴリーの審査レビューも連日開催します。



12 同時開催 東京ミッドタウン・デザインハブ第69回企画展 「私の選んだ一品 - 2017年度グッドデザイン賞審査委員セレクション」



10/4 WED - 10/27 FRI

11:00 - 19:00 東京ミッドタウン・デザインハブ(ミッドタウン・タワー5F)

審査委員による受賞デザインの読み解き方にふれる楽しい空間

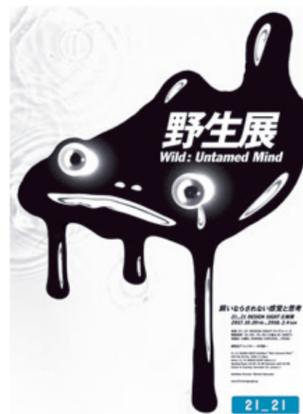
グッドデザイン賞の審査委員は、デザイナーをはじめ建築家や研究者、ジャーナリスト、企業経営者など、多様な領域の最前線で活躍する国内外83名。その一人ひとりが選んだお気に入りの受賞デザインに、その魅力を伝えるメッセージを添えて展示。審査委員たちのデザインの読み解き方にふれるだけでもワクワクします。

【料金】無料

【主催】東京ミッドタウン・デザインハブ

【企画・運営】公益財団法人日本デザイン振興会

21_21 13



同時開催

野生展：飼いならされない感覚と思考

10/20 FRI - 2018/2/4 SUN

10:00 - 19:00 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー-1, ギャラリー-2

※火曜日、年末年始(12/26(火)~1/3(水))休館 ※入場は開館30分前まで

誰もものの中に生き残っている「野生の領域」にふれる

人間の文化と生活には、心の土台となる「野生」の能力が欠かせません。私たちの本能であり知性でもある野生は、創造力に大きな刺激を与えるきっかけになります。本展では、現代の表現者たちのもつ野生の魅力に着目し、さまざまな作品や資料を通して、その力を発動させるための「野生の発見方法」を紐解いていきます。

【料金】一般1,100円/大学生800円/
高校生500円/中学生以下無料

【主催】21_21 DESIGN SIGHT、
公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団

安藤忠雄 21_21の現場 悪戦苦闘

10/7 SAT - 10/28 SAT 10:00 - 19:00 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー-3

※火曜日休館

【料金】無料

【企画】21_21 DESIGN SIGHT

【企画協力】安藤忠雄建築展実行委員会

21_21 14

同時開催

六本木開館10周年記念展

天下を治めた絵師 狩野元信

9/16 SAT - 11/5 SUN 10:00 - 18:00 サントリー美術館(ガレリア3F)

※火曜日休館 ※10/31(火)は開館 ※金・土、および、9/17(日)、10/8(日)、11/2(木)は20:00まで開館。9/30(土)は六本木アートナイトのため22:00まで開館 ※入場は開館30分前まで

狩野派を一大組織へとまとめた、狩野元信とは？

狩野元信(かのうものぶ)は室町時代に活躍した狩野派の確立者。中国絵画の名家たちの「筆様」を整理・発展させ、真・行・草の三種の「画体」を生み出し、その「型」を弟子たちに学ばせることで、集団的な作画活動を可能にしました。元信の画業を中心に、狩野派が組織として成長する様子を辿ります。

【料金】一般1,300円/大学・高校生1,000円/中学生以下無料

【主催】サントリー美術館、朝日新聞社

【協賛】三井不動産、三井住友海上火災保険、サントリーホールディングス



重要文化財 四季花鳥図 狩野元信筆 八幅のうち四幅
室町時代 16世紀 京都・大仙院
【展示期間】9/16(土)~10/2(月)、10/18(木)~11/5(日) (ただし展示替あり)

FUJIFILM SQUARE 15

同時開催

FUJIFILM SQUARE開館10周年記念写真展

~世界中に影響を与えた写真家集団~

マグナム創設の原点

10/6 FRI - 10/25 WED 10:00 - 19:00 FUJIFILM SQUARE

※期間中無休 ※入場は開館10分前まで

写真史に残る「マグナム・フォト」創設の魂にふれる

1947年、ロバート・キャパが発案しアンリ・カルティエ=ブレッソンらと結成した写真家グループ「マグナム・フォト」。写真に備わる「記録」と「芸術」の二面性をひとつの組織の中で融合し、ドキュメンタリー写真の地位を揺るぎないものに確立した写真家たちのスピリットにふれられる写真展です。

【料金】無料

【主催】富士フィルム株式会社

【協力】マグナム・フォト東京支社

【後援】港区教育委員会

ブラジルの大地に生きた写真家・大原治雄

10/1 SUN - 12/28 THU 10:00 - 19:00 FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館

※期間中無休 ※入場は開館10分前まで

【料金】無料 【主催】富士フィルム株式会社

【特別協力】ブラジル大使館、

モレイラ・サーレス財団(IMS)

【後援】港区教育委員会 【企画】コンタクト



難民の少女
バルセロナ スペイン 1939年 ロバート・キャパ
© Robert Capa / ICP / Magnum Photos

A design based event that has been held since 2007 under the concept of "enjoying design through all five senses." This veritable festival of design brings together designers active both in Japan and overseas, accompanied by some stunning examples of design, imparting in an intimate and dynamically physical way the appeal and possibilities of design.

01 INTERACTIVE INSTALLATION ▶P4-5
-Digital Vegetables- by PARTY

[Date] 10.17 tue - 11.5 sun *To be interrupted in the event of rain. To be cancelled in the event of storm. [Hour] 11:00 - 21:00 (Illuminated between 17:00 - 21:00) [Place] Grass Square [Charge] Free [Produced By] PARTY [Held By] Tokyo Midtown
The Grass Square will be graced with a massive greenhouse, the interior of which will be planted with familiar vegetables while the ceiling will be lined with LEDs invoking the sky and water. When visitors directly touch the vegetables, the LEDs inside the greenhouse will react and transform the space with flower seeds and the color of the leaves from that vegetable. The idea is to create an richly colored interactive experience, taking the vegetables that we normally only consider as food and allowing for an exploration of their varied aspects as plants.

02 INTERACTIVE INSTALLATION ▶P6
Monokokoro Paper Lanterns

[Date] 10.13 fri - 11.5 sun *To be cancelled in the event of storm. [Hour] 11:00 - 21:00 (Illuminated between 17:00 - 21:00) [Place] Midtown Garden [Charge] Free [Produced By] WOW / HAKUTEN [Held By] Tokyo Midtown
Paper lanterns will be placed along the small river in the Midtown Garden. Such lanterns are often used in modern times as decorations or as shop signs, but these "material mind" lanterns will start to waver when people draw close, as though welcoming them. The light will also change, as though expressing joy. This is a new expression of a possible format for paper lanterns, fusing traditional Japanese materials with design and bringing a "mind" to "materials". Enjoy an interactive experience while walking through the greenery of the garden.

03 EXHIBITION ▶P7
SCHOOL OF THE FUTURE
Powered by ARS ELECTRONICA

[Date] 10.13 fri - 10.16 mon [Hour] 11:00 - 21:00 [Place] Atrium [Charge] Free [With Cooperation From] Ars Electronica [Held By] Tokyo Midtown
The second phase of the "School of the future" project, a collaboration between Tokyo Midtown and the global creative organization Ars Electronica. This phase takes the form of a conversation based workshop, looking at how information is designed - using examples from the internet and social media through to the now infamous fake news - and then considering what information design may look like in the future.

04 EXHIBITION ▶P7
Salone in Roppongi vol.5 2017

[Date] 10.13 fri - 10.22 sun *To be cancelled in the event of rain. [Hour] 11:00 - 21:00 [Place] Courtyard [Charge] Free [Held By] Salone in Roppongi Executive Committee [With Cooperation From] Tokyo Midtown
This year marks the fifth holding of Salone in Roppongi, creating a meeting place for people to discuss, express and exchange designs. Becoming a sort of "designers junction," you'll be welcomed by designers filled with dreams, ambition and passion, just like attending the Milano Salone design week itself. From here, spread your wings out into the world!

05 EXHIBITION ▶P8
MAZDA DESIGN Exhibition

[Date] 10.13 fri - 10.22 sun [Hour] 11:00 - 19:00 [Place] Canopy Square [Charge] Free [Held By] Mazda Motor Corporation
The new Mazda CX-8 features colors and shapes that can only be created by the rich sensibilities of designers and technicians of true craftsmen, combined with a stunning interior that can only be created by hand, realizing a space that brings the "joy of driving" and "an elegant richness and relaxation" to the driver and each and every passenger. Dressed in the powerful style of an SUV but offering a fast and sporty drive, all the while cutting a mature and calm, elegant silhouette, and with a high quality interior perfectly suited to the flagship Mazda SUV. This is Mazda Design. "Rather than just a lump of metal, we want to make a car into something with a sense of presence akin to that of a living creature." Experience with all five senses the essence of craftsmanship-created Mazda design.

06 INSTALLATION ▶P8
docomo design exhibition
"to create is to destroy."

[Date] 10.20 fri - 10.29 sun [Hour] 11:00 - 21:00 [Place] Atrium [Charge] Free [Held By] NTT DOCOMO, INC.
Sometimes the creative process runs up against a wall. At such times, we mustn't be afraid to destroy what we have built up. That's because destruction is the process of going back to the beginning of things, and it's the only way to reach the ideal. Docomo came into being 25 years ago. Docomo's approach to creating products is expressed in this installation, using smartphone-shaped building blocks.

07 EXHIBITION ▶P9
Panasonic Design Exhibition

[Date] 11.1 wed - 11.5 sun [Hour] 11:00 - 21:00 [Place] Courtyard [Charge] Free [Held By] Panasonic Corporation
Panasonic continues to operate in close connection to people's lifestyles, going beyond the boundaries of the times. Centered in their DNA as a long-time home electronics manufacturer, they will ask the question "what will make life better next?" and then attempt to depict their answers. Under the concept of "Hands-on Innovation," this is your chance to touch collaborative products with "GO ON" and other as yet unannounced prototypes.
GO ON is a joint collaboration of Kyoto craftspeople who apply the time-honored techniques of Japanese crafts

08 MARCHÉ ▶P9
Tokyo Midtown Antique Marché

[Date] 10.28 sat, 29 sun *To be cancelled in the event of rain. [Hour] 11:00 - 17:00 [Place] Midtown Garden [Charge] Free [Held By] Menome Co., Ltd. [With Cooperation From] Tokyo Midtown
An antique market held by the monthly magazine "Menome", which has been handling antiques and works of art for 40 years. Top class antique dealers will gather to display a range of pieces carefully selected by their refined eyes and sensibilities; just looking at them may inspire something new inside you.

09 AWARD CEREMONY/EXHIBITION ▶P10
Tokyo Midtown Award 2017

[Charge] Free [Held By] Tokyo Midtown [URL] www.tokyo-midtown.com/jp/award
*Award Ceremony "Invitation Only" [Date] 10.13 fri [Hour] 16:30 - 17:30 *Footage of the award ceremony will be posted on USTREAM
*Exhibition [Date] 10.13 fri - 11.5 sun [Place] Plaza B1
This year marks the 10th anniversary of the Tokyo Midtown Award, a competition to discover and support the next generation of creators. We will be announcing and displaying the 14 winners from among the 1,489 entries we received this year along with 77 award-winning works of the past design competitions.

10 EXHIBITION ▶P11
The "Want to Touch" Design Exhibition

[Date] 10.13 fri - 11.5 sun [Hour] 11:00 - 21:00 [Place] Galleria B1/3F [Charge] Free [Held By] Tokyo Midtown
Interior & design shops will introduce a wide selection of items, based in this year's theme of "touch" and under the heading of "designs you want to touch."

11 EXHIBITION ▶P12
GOOD DESIGN EXHIBITION 2017

[Date] 11.1 wed - 11.5 sun [Hour] 11:00 - 20:00 *Until 18:00 on the last day [Place] All around Tokyo Midtown [Charge] ¥1,000 (Valid for 5 days / University students or younger free) *Some completely free [Held By] Japan Institute of Design Promotion
The Good Design Award is known for the "G Mark" logo that comes with the award. This event will allow you to come into contact with the latest in design, featuring the more than 1,000 recipients of the G Mark in 2017. There will also be plenty more to see, including a presentation unveiling the top 100 designers, the "Long Life Design Award" being presented to long selling designs, and an exhibition of unique designs from Asia.

12 EXHIBITION ▶P12
Tokyo Midtown Design Hub 69th Exhibition
"My Favorite Design"
- The selection from GOOD DESIGN AWARD 2017

[Date] 10.4 wed - 10.27 fri [Hour] 11:00 - 19:00 [Place] Tokyo Midtown Design Hub (Midtown Tower 5F) [Charge] Free [Held By] Japan Institute of Design Promotion
The panel of judges for the Good Design Award is comprised of over 80 individuals, all working on the frontlines of a wide variety of fields around the world and including designers, architects, scientists, journalists and corporate executives. This exhibition takes personal selections from each and every one of them and exhibits them along with a message concerning what they find appealing about that piece in particular. Just being able to touch upon the thought processes of the judges is in itself an exciting opportunity.

13 EXHIBITION ▶P13
Wild: Untamed Mind

[Date] 10.20 fri - 2018.2.4 sun *Closed on Tuesdays and the New Year period (12.26 (tue) - 1.3 (wed)) [Time] 10:00 - 19:00 *Last admittance 30 minutes before closing [Place] 21_21DESIGN SIGHT Gallery 1, Gallery 2 [Charge] Adult ¥1,100 / University Students ¥800 / High School Students ¥500 / Junior High School Students and younger free [Held By] 21_21DESIGN SIGHT / THE MIYAKE ISSEY FOUNDATION
The base of our culture and life, lies in the 'untamed mind.' This exhibition focuses on the fascinating power of the instinctive, untamed mind of contemporary artists, unveiling how to detect the 'untamed mind' through their works and documents.

14 EXHIBITION ▶P13
Celebrating a Decade in Roppongi
Kano Motonobu: All Under Heaven
Bowed to His Brush

[Date] 9.16 sat - 11.5 sun *Closed on Tuesdays, but open 10.31 (tue) *On Fridays, Saturdays and 9.17 (sun), 10.8 (sun) and 11.2 (thu) open until 20:00. On 9.30 (sat), open until 22:00 for the Roppongi Art Night. [Time] 10:00 - 18:00 *Last admittance 30 minutes before closing [Place] Suntory Museum of Art (Galleria 3F) [Charge] Adults ¥1,300 / University & High School Students ¥1,000 / Junior High School Students and younger free [Organized By] Suntory Museum of Art / The Asahi Shimbun [Sponsored by] Mitsui Fudosan Co., Ltd. / Mitsui Sumitomo Insurance Co., Ltd. / Suntory Holdings Limited
Kano Motonobu was an artist active during the Muromachi period (1333-1568) and who established the Kano school of painting. He took the use of brushes by famous Chinese painters, organized and developed their techniques, formed them into his own style of painting and then taught that to his students, allowing for a progression into group creative activities. With a focus on the paintings of Motonobu, this exhibit tracks the growth of the Kano school as an organization.

15 EXHIBITION ▶P13
- Photographers who Influenced the World -
The Founding of Magnum

[Date] 10.6 fri - 10.25 wed [Time] 10:00 - 19:00 *Last admittance 10 minutes before closing [Place] FUJIFILM SQUARE [Charge] Free [Held By] Fujifilm Corporation [With Cooperation From] Magnum Photos Tokyo [Support] Minato City Board of Education
Magnum Photos was founded in 1947 by Robert Capa, and included other photographers such as Henri Cartier-Bresson. Seeking to fuse within a single organization the two sides of photography, that of creating a record and that of art, this exhibition is your chance to touch upon the spirit of the photographers who firmly established the position of documentary photography.

メインビジュアルをつくったのはこの人



デザイナー
玉置 太一
Taichi TAMAKI

1984年、神奈川県生まれ。2006年、日本大学芸術学部デザイン学科コミュニケーションデザインコース卒業、同年、電通入社。第25回グラフィックアート「ひとつば展」入選、NYADC賞銀賞、ONESHOW銅賞、ADFEST銅賞など。「2017JAGDA新人賞」を受賞し、「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2017」のメインビジュアルを担当。

GREATER'S MESSAGE

デザインに、ふれる。
手で触ることで、目で見ること。
鼻で嗅ぎ、耳で聴き、舌で味わうこと。
常に、ときに無意識に。
人は全身でデザインにふれている。

デザインは生活のなかにあるのだ。
奇抜なもの、華美なもの、
非日常なものばかりがデザインではない。
ないときと比べてそれがあることで、
人の気持ちがポジティブになっているとすれば。
そこに、デザインは存在している。
空気のようにさりげなく、

人の暮らしの中に存在している。
人はデザインと生きている。
人はデザインで生かされている。
大きさにいえば、そういうもの。
なのかもしれない。



INFORMATION インフォメーション

Access
アクセス

- 都営大江戸線「六本木駅」8番出口より直結
- 東京メトロ日比谷線「六本木駅」より地下通路にて直結
途中、段差があるため車椅子・ベビーカーをご利用のお客さまは日比谷線「六本木駅」で地上部に出てお越してください。
- 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」1番出口より徒歩約10分

SHOPS ▶ 11:00 - 21:00 RESTAURANTS ▶ 11:00 - 24:00
※一部店舗により異なります。詳しくはフロアガイドをご確認ください。
*Some shops keep different hours. Please check the floor guide for full details.

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-1
東京ミッドタウン・コールセンター
03-3475-3100 [受付時間 10:00 ~ 21:00]

www.tokyo-midtown.com